

2005 年度 小委員会活動成果報告

(2006 年 2 月 9 日作成)

小委員会名	作品評価小委員会		主 査 名：宇野 求 就任年月：2004 年 4 月
所属本委員会 (所属運営委員会)	計画委員会		委員長名：服部岑生
設 置 期 間	2004 年 4 月 ~ 2006 年 3 月		
設 置 目 的 各年度活動計画 (箇条書き)	<ul style="list-style-type: none"> ・ 建築作品を通して計画研究の真価を問い直し、設計方法論の有効性を求め、新しい計画学の枠組みを構築 ・ 建築作品および建築計画学を開かれた場において評価する可能性を探る ・ 評価のクライテリアと方法を検討し、いくつかを試行 		
委員構成 (委員名(所属))	委員公募の有無： 無(公募は行ったが適任者がいなかった)		
	主査：宇野求(千葉大学) 幹事：田所辰之助(日大) 委員：上野武(千葉大) 大川信之(建築家) 岡河貢(広島大), 小島収(近畿大) 重村力(神戸大), 槻橋修(東北工大) 橋本純(編集者) 藤井正紀(建築家) 安田幸一(東工大)		
設置 WG (WG 名：目的)	なし		
2005 年度予算	135,000 円	ホームページ公開の有無：無 委員会 HP アドレス：	

項 目	自己評価	
委員会開催数	3 回(年度内計画を含む)	
刊行物 (シンポジウム資料等は 除く)		
講習会		
催し物 (シンポジウム・セミナー・研究会・見学会等)	建築評価研究会(招待講話会)の開催(3 回)	参加者数 30 名
大会研究集会		
対外的意見表明・パブリックコメント等		
目標の達成度 (当初の活動計画と得られた成果との関係)	現在の建築評価の軸が印象に偏っていることを確認し、討論を積み重ねたという点で、大枠のレビューをおこなったという点で一定の成果があった。	
委員会活動の問題点・課題	<ol style="list-style-type: none"> 1. 委員の学習あるいは専門の業績に結びつける運営方法を工夫して委員会活動のモチベーションを高めるのが次の課題であると考えられた。 2. 遠隔地からの委員会参加について予算的なむずかしさを感じることがあった。 	

* 小委員会活動成果報告書は本書式を基本とする。ただし、それぞれの本委員会において活動実績を報告する共通項目があれば、最下段に項目を追加して記述してもよい。